



東高同窓会だより

長崎東高等学校 関西同窓会

第13号

2021年（令和3年）5月10日

編集発行人 手嶋 孝

ごあいさつ

日頃は同窓会活動にご協力をいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルスの蔓延により昨年の第9回総会・懇親会を中止し、「さるく」などの諸活動も縮小延期などが続き、目下、同窓会の主目的であるみなさんとの対面交流ができない危機的な状況にあります。

同窓会に寄せる思いは各人さまざまでしょうが、学び舎を同じくした者が世代を超えて長崎弁で心おきなく交流できる「場」が存在する、それだけでも同窓会の存在価値はあると信じます。みなさん、活動がままならぬ今こそ、関西同窓会設立の意義を思い返そうではありませんか。

当会は約1年余の準備期間を経て平成24（2012年11月に設立されました。当時「関西に同窓会をつくってもらって良かった、嬉しい」という声がたくさん寄せられ、設立総会の参加者は150名を超え、熱気があふれておりました。

関西同窓会は常にみなさんの、この思いを繋ぐ場でありたいと切に願います。その一つの試みとして、関西同窓会ホームページに「同窓生駅伝」のコーナーを設け、会員みなさんからの発信を連載しております。また、この「同窓会だより」も皆様と関西同窓会を繋ぐ媒体としてお役にたてればと願っています。

コロナ禍が終息し、対面交流のときが一日も早く来ることを願ってやみません。それまでみなさんご自愛のうえ、恙なくお過ごしくださいますよう祈念いたします。

長崎東高関西同窓会会長 平幸治（15回生）



◆◆2020年度（令和2年度）会計報告◆◆

令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）会計決算について、以下の通りご報告いたします。

収入の部	決算額
前年度繰り越し	720,448
寄付金	4,565
23回生10,000.-36回生3,565.-	
預金利息	4
収入合計	725,017

< 基金計画 >	
平成25年度設定基金	150,000
平成28年度基金受入	100,000
平成30年度基金受入	200,000
基金残高	450,000

支出の部	決算額
会報発行費	95,790
第12号発行費一式	
印刷19,888.-、郵送料75,902.-	
新歓懇親会新入生分会費	28,000
会員拡大プロジェクト@4,000.-×7名	
ホームページ運営費	
2020年度レンタルサーバ代	5,238
Zoom年払い料金	22,110
その他雑費	
手土産・駐車場代(IMD事務所)	2,740
振込手数料	520
支出合計	154,398
次年度繰り越し	570,619
2020年度収支	-149,829

◆◆オンライン常任幹事会◆◆

新型コロナウイルスの蔓延により関西同窓会常任幹事会も多大な影響を受け、およそ1年間対面形式のミーティングを開催することができませんでした。関西同窓会としての課題が山積していて活動を停止するわけにはいきません。

そこで、ウェブ会議アプリZOOMを使ったオンライン常任幹事会を開催する準備が進められ、3月から実際に始動し始めました。各回の会議で検討した内容についてはホームページ上に掲載しますのでご確認ください。

関西同窓会への問合せ窓口

jmkeast@higashi.sakura.ne.jp

事務局：泉田豊彦（24回生）

関西同窓会ホームページのWEBサイト

<http://higashikansai.sakura.ne.jp>

yahoo、Googleなどから「長崎東高関西同窓会」を入力して検索してください

◆◆活動報告◆◆

会員拡大プロジェクト：学生歓迎会 2020/10/18



今年度、関西の大学に進学した72回生の歓迎会を「満海」で実施しました。新社会人となった68回生のMさんが企画・準備をしていただいた結果、7名が出席してくれました。まずはMさんの挨拶と乾杯でスタート。最初は少し緊張気味でしたが、「満海」の経営者44回生のNさんの採算を度外視したおいしい料理で徐々に和んできたところで自己紹介。「大学の対面授業はいまだ週1日」、「アルバイトを先週あたりから始めた」、「サッカー部に入った」、「混成合唱団に入った」、「USJの年間パスを買ってもう2回行った」等等、それぞれの近況や趣味などを披露。みなさん笑顔でうなずいたり、質問したりしていました。その後はNさんも入って大阪人気質や大学の話など大いに盛り上がりました。2時間半の楽しいひと時はあっという間に過ぎ、最後に72回生の同期会立上げのため幹事、副幹事を決めてお開き。思い出に残る一日となりました。19回生 福地記。

地域懇話会：ばってんまほろば会 2020/11/7

9回生から25回生までの有志12名が奈良ロイヤルホテルの中華料理『沙山華』に集まりました。ソーシャルディスタンスを保ちつつ3つのテーブルに着席。24回生松尾さんの開会の挨拶と9回生永尾さんの乾杯で開会。ビール、ワイン、そして紹興酒を頂きながら奈良らしい料理を堪能しました。次第にお酒も回ってきた頃各自近況の報告。双子のお孫さんが誕生して嬉しい忙しさのNさんは近頃ちょっと物忘れが！古希を迎えて運動神経が鈍くなったと嘆くIさん。吉野の紅葉を見に奥千本まで往復3万歩歩いたと自慢するT。紹興酒の由来を解説するM先輩。写真クラブの講師からワンポイントが不足と指摘され自信を無くしているFさんは毎日をワクワクと生きたいと自身を鼓舞しています。コロナ以降自粛していた



がここにきて活動を開始したというMさんは筋力強化を目論んでいます。仕事を二男に引き継ぎ、時間の余裕ができたので東北旅行をしたという74歳のKさん。78歳まで仕事をしたが、今は健康が第一という意気軒高なNご夫妻。ただ体力だけではなく脳を鍛えることが大事だという。結婚して42年経過、単身赴任など経験してきたが、これからが二人の再スタートというMさん、リタイア後の今は感謝することが多くなったと感慨深げに語られたF夫人、コロナ以後、仲間とダイエットクラブを作り減量計画実施中のI夫人などなど、話しは尽きず、次はみんなで宿泊旅行を企画しようという盛り上がり。コロナ渦中でしたが、しっかり対策をしながら、楽しい時間を過ごしました。23回生 手嶋記

関西さるく会

- さるく会 : 多人数さるくは自粛中
- 地域さるく : 少人数で対策を講じながら実施中
 - 2020/09/27 奈良・秋篠寺～西大寺さるく
 - 2020/10/25 京都・城陽市さるく
 - 2020/11/22 奈良・若草山さるく
 - 2021/3/28 奈良・佐保川桜さるく
- ちょっとさるく : 単独又は二三人で近場を散歩
 - 2020/8/1 姫路・市才村遺跡
 - 2020/8/1 奈良・あやめ池遊園地跡
 - 2020/9/18 奈良・信貴山朝護孫子寺
 - 2020/9/20 京都・嵯峨野
 - 2020/9/26 長崎・教会ルルドと深堀武家屋敷
 - 2020/10/2 奈良・山の辺の道
 - 2020/10/4 神戸・北野異人館街
 - 2020/11/5 奈良・太子道
 - 2020/11/22 兵庫・城下町龍野
 - 2021/2/16 播磨・石の晒殿
 - 2021/2/18 兵庫・姫路城

*皆様から寄せられた記事はホームページに掲載していますので、閲覧ください。

*『ちょっとさるく』の寄稿を引き続き募集しています。ちょっとさるくのタイトルと記事及び写真数枚をお送り下さい。

<送付先> fbc001@kcn.jp 福地定義 (19回生)
又は、tsfcs545@yahoo.co.jp 手嶋孝 (23回生)

写真クラブ

展示会、撮影会、勉強会など自粛中

ゴルフクラブ

同窓会としてのコンペの開催は自粛中

ボウリング同好会

昨年2月に実施以来自粛中

新企画『どがんしとっと！同窓生駅伝』 長崎東高関西同窓会ホームページに連載中！

新型コロナウイルス感染症の蔓延により同窓会活動も大きな制約を受けています。

今こそ関西同窓会設立の意義を思い返し、同窓会が皆様の思いを繋ぎ支える存在でありたいと願います。

今できることとして、ホームページに会員皆様方の思いや近況などを発信・交流する新しいコーナーを設けました。

2月1日にスタートしてこれまでに「東高時代の思い出」、「関西同窓会と私」、「今はまっていること」、「コロナと私」などのテーマで4回生から68回生までの24名が襷を繋いでいます。

どうぞご覧いただき感想などお寄せください。

fbc001@kcn.jp 福地定義 (19回生 HP担当)

【まえがき】 幹事：池田志成 このページは昨年関西に進学した学生たちの入学式やオンライン授業など、前例がなく、行く先不透明な一年の思い出を綴ったものです。キーワードは、As大学生・In関西・Join同窓会・Withコロナ。この特集が関西同窓会のみなさんへのPRとなり、将来72回生のタイムカプセルとなることを願っています。

「入学式」 武藤里奈（むとうりな） 近畿大学
大学生活のスタートとなる入学式。今年度はオンラインでした。スーツを着て大学生らしく出席する事が出来ず悲しかったのですが、負けず頑張ろうと思いました。また友達もおらず気持ちも沈みがちでしたが、今思えば貴重な経験として大切な思い出になると思います。

「オンライン授業」 白水未春（しらみずみはる） 滋賀大学
漠然とした不安を抱えて在宅のオンライン授業が始まりました。パソコン操作もままならず、レポートの書き方に悩み、そして友達もできない。オンラインはそれなりの利点もあるし、今でこそ慣れたけど最初からいきなりこのような状況。本当に不安で大変でした。

「オンライン授業」 小田原光輝（おだわらみつぎ） 大阪大学
オンライン授業は、オンデマンド型の授業、zoomを使った同時配信授業など様々なものがあります。どうしても、対面の授業よりも得られる内容が貧弱になると、その分授業外の勉強によって、理解の差ができてしまいます。その意味でも本当に大変な経験でした。

「オンライン授業」 岡村さにい（おかむら） 関西外国語大学
私の大学では、zoomを用いた授業を1年間行ったため、キャンパスに入れたのはほんの数回。直接講義を受けることが出来ず常にパソコンの画面と向き合うのが苦しいと感じる時もありましたが、移動時間の削減と資料などの扱いやすさが利点になると思いました。

「同窓会との出会い」 池田志成（いけだゆきなり） 大阪大学
卒業式を終え怠惰な生活を送っていたある日、担任の先生からメールが！「関西同窓会の幹事に当選しました。」あまりに突然だったため、訳もわからないまま幹事になり、気づけば72回生の幹事長に。現在はやる気に満ち溢れています。これが同窓会との出会いでした。

「一人暮らしの生活」 長田幸輝（ながたこうき） 立命館大学
一人暮らしは食事、睡眠等全てを自分で決められる分、自堕落生活になります。外に出にくいこの1年は顕著で、AmazonプライムやYouTubeなど一日中アニメや動画を見てました。ただ趣味が増えたり、今後やってみたいこともできたので悪くない生活だったかなと思います。

「ちょっとさるく」 鈴木里彩（すずきりさ） 大阪大学
実家周辺、小学校の通学路を含むコースを歩きました。幾分小さく感じられる郵便ポストを見て、私も大きくなったなあとしみじみ。数ヶ月ぶりに見ればささやかな自然も新鮮で、青々と茂った若葉と薫り高い初夏の風がオンライン授業で疲れた目と心を癒すようでした。

「休暇」 恒任孝明（つねとうたかあき） 大阪大学
コロナ禍ではショッピングモールなども休業しているところが多く、サイクリングや、家で漫画を読むことが多かったです。鬼滅の刃も読みました。ゲオの漫画レンタルを利用したので、お金も節約できました（笑）。来年は大学生らしくお店にも遊びに行きたいです。

「バイト」 豊田雅人（とよだまさと） 近畿大学
僕は8月から1月末までJoshin電機でアルバイトをしていました。最初の1ヶ月は怒られてばかりでしたが、バイト先で学生の友達もできたりして楽しく働けるようになりました。接客があまり自分に向いてなくて辞めてしまいましたが、いい経験になりました。

「初登校」 森島奈央（もりしまなお） 武庫川女子大学
入学式がなくなり前期の授業は完全オンラインとなったため、大学に初めて登校したのは、後期の初期演習の授業でした。初めて同じクラスの人と顔を合わせ、とても緊張しましたが話しやすい人が多く、すぐに打ち解けることができ、思い出に残る初登校になりました。

「学生歓迎会」 三浦功奨（みうらこうすけ） 大阪大学
同窓会の歓迎会に参加しました。各々の現状を報告した後、関西のことや同窓会についての質問、気になっていることについての情報交換など非常に有意義な時間でした。コロナ禍慣れない土地での学業・生活にいつでも頼れる方の存在を実感し、不安が和らぎました。

「さるく会」 佐々田悠矢（ささだゆうや） 大阪教育大学
11月にさるく会へ参加しました。生き物や自然との触れ合いで、学業で煮詰まった頭をリフレッシュできました。先輩方との交流もでき、昔の東高のことなども聞くことができます。予定の合う日があればまた参加して見たいです。他の方もぜひ参加してみてください。

「旅行」 小西里咲（こにしりさ） 近畿大学
12月に長崎東中の11回生でもあり、長崎東高の72回生でもある男女6人で1泊2日の関西旅行をしました。「Re:修学旅行」と題して、中学のときの修学旅行で訪れた関西の地を再び皆で観光しようという企画でGotoトラベルを利用しての旅行は本当に楽しかったです。

「先輩との食事」 長谷川由衣（はせがわゆい） 神戸大学
昨年末、37回生の山崎さんと神戸でお会いし、ごはんに連れて行っていただきました。意外と近くに先輩がいらっしゃることがわかり、心強く感じました。娘さんや大学時代の話などをしていただき、とても楽しい時間になりました。またぜひお会いしたいです。

「サークル活動」 森重美優（もりしげみゆ） 滋賀大学
「滋大祭実行委員会」に入会し、昨年月に行われた学祭の企画・運営に携わりました。知り合いが一人もない団体に参加したことにより友人が沢山でき、活動を通して仲を深めることができました。また達成感やかけがえのない思い出を得ることができました。

【あとがき】 幹事：鈴木里彩
72回生による寄稿特集、いかがでしたでしょうか。振り返ると、コロナの影響で例年とは全く違うものになった私たちの大学生活ですが、せわしない中で楽しいことも多い特別な1年だったと思います。最後にこの企画に関わって下さった全ての皆さまに感謝申し上げます。そしてこの特集が後輩達に引き継がれることを心より願っています。

◆◆東風ら関西 [こちらかんさい]◆◆



今回は、兵庫県川辺郡猪名川町の浄土宗西鏡寺の住職26回生の生水康昭さんをご紹介します。長崎大水害や阪神淡路大震災を直接ご経験された上でのこのコロナ禍、ご住職として何を想われるのかご登場いただきました。

26回生の生水康昭と申します。旧姓は、鶴田と言い寺町三宝寺の次男坊で、兄は24回生、すぐ下の妹は南高、一番下の妹は東高の30回生で、兄弟四人の内三人までが東高でお世話になりましたが、私だけが九州を離れ関西在住となっております。

昭和58年、28歳の時に不思議なご縁を頂き今の寺、西鏡寺に入り、生水の姓を継ぐこととなりました。生水でイキミズと読みますが、なかなか正確に呼んでいただけません。一度銀行でナマミズさんと呼ばれた事があり、そんな奴おらんやろうと言い返した事がありました。

関西支部同窓会には、2回参加させていただきましたが、その時の名簿で坊主してるんやったら何か書くやろうと白羽の矢が立ったのかなと思っています。ご期待にそえるようなものは書けなくて申し訳なく思いますが、由無し事を書き付けていきます。

世間では、もう忘れ去られようとしています。長崎大水害の年まで私は長崎にいました。思い返せばアレは温暖化のはしりだったのかも知れません。確か同窓生も何名か犠牲になられた方がありました。想定外という言葉が日常茶飯事に使われるようになった昨今ですが、個人的には想定外の事など何も無いと思っています。皆起こるべくして起こっている事であり、ただ、人間にとって起こっては都合の悪いことは想定外にされていると思っています。長崎大水害の経験が、大災害発生報道直後に電話が使えなくなることを教えてくれていたので、阪神淡路大震災の時には、素早い安否確認に繋がりました。つくづく、経験がものをいう言葉が身にしみました。阪神淡路大震災が戦後未曾有の大災害いわれ、その痛みも冷めやらぬ内に、更にそれを大きく上回る東日本大震災が発生し、それからは、毎年のごとく日本各地で災害が発生しています。対岸の火事ではなく、明日は我が身です。でも、そんな中でも人と人の繋がり、絆が見直されてきたのは大きな救いです。親の背中をあまり見ることもなく育った若い世代の人たちが、ボランティア活動を通じて、人の痛み哀しみ温かさを感じ取って成長してゆく姿を垣間見ると、この国もまだまだ棄てたもんじゃないなとエラそうな事を思ったりします。

しかし、今回のコロナ騒動は、その絆さえも危うくさせてしまいそうです。SNSやオンライン、繋がる手段は格段にふえました。体温や気配を感じさせない繋がり、人の情緒を育てるのでしょいか。もはや、デジタルやIoTを否定できる時代ではありませんが、我々は極めてアナログな存在です。喉元過ぎればすぐ熱さを忘れず。正義を振りかざしても、本音は妬みや嫉みだったりします。愚かで哀しくて儂い愛すべき存在をAIは分析理解するのでしょいか。

何か小難しい話になってしまいましたが、要は、人と人との触れ合いが人間を人間として育てるということです。そういう意味では、同窓会はもろ人と人の繋がりです。様々な思いが交錯します。早くこのコロナ禍が沈静し、同窓会が再開され、皆様に再会できる日を心待ちにしています。

因みに、私の座右の銘は、「人は、本当のこと言うと怒り出す。」です。

◆◆同期会 36回生第3回大人の修楽旅行 (2020年11月21日・22日)◆◆



関西に加え関東、愛知、そして長崎からの遠征組が参加し、紅葉に染まる秋の京都を満喫しました。初日は、東山の南禅寺、琵琶湖疎水記念館、青蓮院、知恩院などを巡った後、祇園の茶屋街を見学。最後に今年の大河ドラマの主人公、明智光秀の首塚にも寄り、宿舎の古民家民宿に戻りました。ボランティアで京都ガイドを行っている湖城君の豊富な知識と分かり易い解説に感謝。夕食後の二次会は、マスクやアルコール消毒で十分に注意を払いながら、高校時代だけでなく小学校や中学時代の思い出を語り合い旧交を温めました。

個人的には、かつて長崎にあった数々の映画館（東宝富士館、新世界劇場、ニュース劇場など）やレストラン（浜町のマルゼンやグリル泉など）の話を共有できたことは郷愁の思いとともに感動でした。

翌日は早朝から電車で亀岡に移動。トンネルを抜けると、そこは霧がかかった異世界の雰囲気。急流と紅葉の保津川下りを楽しみました。大自然の美しさと迫りに圧倒された約2時間の行程でした。嵐山で下船した後は、竹林や世界遺産の天龍寺の庭園を巡り、予約していたレストランで昼食後、名残惜しかったのですが、今回の旅行も終了となりました。

来年は9月開催で計画がスタートした様子。その時期には世の中の状況も落ち着き、より多くの同級生が参加し、今回以上に賑やかで楽しい旅行となることを祈ります。

(森川隆弘 記)

編集後記

今回、デザインを一新してみました。いかがでしょうか？広報および同窓会だよりの編集委員を募集中です。ご一報下さい。生水康昭さんが「人と人との触れ合いが人間を人間として育てる」と述べられました。流石に含蓄のある言葉ですね。関西同窓会に72回生が新しく入会されました。自ら企画した本号の特集記事はフレッシュで希望に満ち溢れています。みんなで歓迎しましょう！また、今年卒業した73回生の内、関西に来られた学生の方も同窓会に参加され始めています。